



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年6月16日  
第11号

去る9日(木)の午後にプール清掃を行いました。すでに学校HPでもお知らせしたとおり、この日の6年生は本当によく頑張っていました。最初は有機物の混じった泥水特有のぬめりと匂いに「臭い」「気持ち悪い」という声も聞かれましたが、じきに作業に没頭し始め、積極的に仕事を見つけて働いていました。さすが6年生です。仕上げに先生方がホースでの放水を終えるとプールはすっかりきれいになりました。



今日16日(木)はプール開きを行いました。水の事故や感染症対策に気を付けながらも、思い切り水に親しめる夏が久しぶりにやってきます。

## 「一人一鉢栽培活動」で心を豊かに

同じく9日(木)は、雨で延期となっていた「一人一鉢」の活動がようやく行えました。この日、朝から荻生地区の花と緑の銀行の皆さんが大勢来校してくださいました。ありがとうございました。大人の方に手順を教わりながら、一人一人が鉢に培養土を入れ、ベゴニアの花苗を植え込みました。6年生が1・2年生に教えながら一緒に活動する姿がすてきでした。



グラウンド横から校門にわたるフェンスには児童の名札が付いた花鉢がずらりと並びました。これから毎日、これらの花



を見る度に心が豊かになりそうです。もちろんお世話も忘れずに。皆で大切に花を育てていきます。

## 自分の世界を表現できる「言葉のパズル」・・・短歌で小さな楽しみを

### ★「たのしみは・・・」6年国語科の短歌づくり

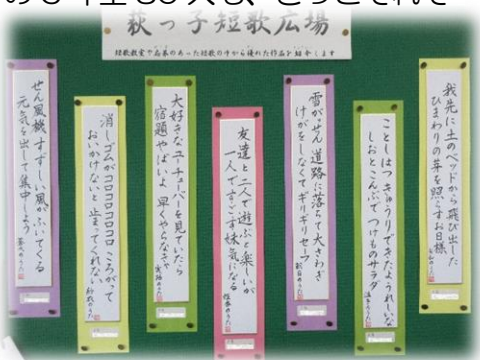
あおぞら級の廊下の掲示板には、数日前から、6年生4人が国語の時間に創作した短歌が掲示してあります。よく読むと、学校や家庭での4人それぞれの楽しい時間が歌われていて、なかなか面白く感じます。

短歌の五・七・五・七・七のうち、最初の五(初句)を「たのしみは」、最後の七(結句)を「・・・とき」と決めて取り組む「言葉のパズル」のような、短歌作りの入門編の学習です。ほかの6年生30人も、きっとそれぞれ自分の歌を作っていることでしょう。

### ★「校長先生の短歌教室」を始めました

6月は先生方の出張が多く、授業の補欠がどうしても難しい時は、担任の先生にお願いして国語の特別授業「短歌教室」をさせてもらっています。

五・七・五・七・七の型についてはあつという間に感覚をつかみ、短い時間でも面白い表現を積極的に試してみる子が多く、感心します。集まった歌は互選で順位を決めたり、校長室前に掲示したりしています。何人かでも、これが「楽しみは・・・」の一つになればなおよし、です。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。

## 2 年生活科、元気に地域を探検中です

2 年生活科では「どきどきわくわく まちたんけん」として荻生地域内の施設等を見学する校外学習を続けています。これまで、学校そばの称名寺と八幡社、箱根清水のある長屋地区と、徐々に遠い場所へと出かけ、それぞれの場所の「ひみつ」をさがしてきました。

9 日（木）は新幹線の黒部宇奈月温泉駅への校外学習でした。校門で皆を見送った私でしたが、様子が気になり（笑）、取材もかねて車で見ていってみました。

子供たちは、駅に隣接する地域観光ギャラリーで館内の展示物を見学していました。案内の方の説明をよく聞きながら、興味深そうに見学する姿がかわいらしく感じられました。今回もたくさんの発見があったことでしょうね。



こうした学習を重ねることで、地域を知り、地域に親しみをもつ子供へと育てていくことと思います。

### シリーズ「教室におじゃまします」 6/14(火)1年 体育科の巻

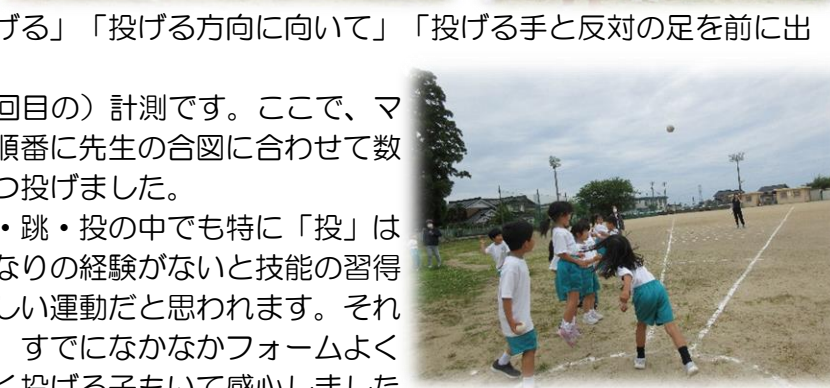
この時期、どの学年も体育の時間にスポーツテストを行っています。1 年生はボール投げに初めて挑戦する時間でした。グラウンドには朝のうちに体育主任の板本先生が専用のラインを引いてくださっていました。

この時間は担任の広田先生のほか、スタディメイトの稲場さんと山本さんが子供たちの支援につきました。ボール投げの計測に子供たちは興味津々といった様子でした。みんなで声を合わせながら準備運動を行いました。

次に、広田先生が実演をする形で、ボール投げのコツや、反則（無効）となるよくない例について説明しました。コツについては予め教室で聞いていたのか、子供たちもよく答えていました。「上に向かって投げる」「投げる方向に向いて」「投げる手と反対の足を前に出して」といったコツです。

次はいよいよ練習、そして（今日は第 1 回目の）計測です。ここで、マスクを外したい子は外してよいこととし、順番に先生の合図に合わせて数回ずつ投げました。

走・跳・投の中でも特に「投」はそれなりの経験がないと技能の習得が難しい運動だと思われます。それでも、すでになかなかフォームよく力強く投げる子もいて感心しました。「よくがんばりましたね。次もがんばりましょう！」先生の声に皆、元気よく返事をして終わりました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。